

「平成29年度 事業計画書」

平成29年度 事業計画書

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

当協会は、法面保護の社会的使命を深く認識し、あらゆる法面保護の工法を探求し、その普及を図ることにより国土の保全に寄与し、国民の生命・財産を自然災害から守るという使命を目的とし社会に貢献してきた。

平成29年度においても、一層の社会貢献を果たすことを目的に、従来から実施している公益的活動を本部と支部とが一体となり積極的に推進することとする。

1、特定法面保護工法に関する技術者及び技能者の養成等

(1) のり面施工管理技術者資格試験及びのり面ノズルマン技能認定試験

法面保護工の品質確保のための専門的技術を検証する目的の「のり面施工管理技術者資格試験」を引き続き実施する。また、法面吹付工の技能者を確保する目的の「のり面ノズルマン技能認定試験」は今年度から再開する。

なお、のり面ノズルマン技能認定資格取得後5年を経過した者の更新手続きを引き続き実施する。

(2) のり面施工管理技術者講習会及びのり面ノズルマン講習会並びにのり面施工管理技術者資格更新講習会

のり面施工管理者技術者等の養成のため「のり面施工管理技術者講習会」及びのり面施工管理技術者資格取得後5年経過した者に対する継続教育としての「のり面施工管理技術者資格更新講習会」を引き続き実施する。

なお、のり面施工管理技術者講習会及びのり面施工管理技術者資格更新講習会については、引き続き、公認のCPDSに登録する。

「のり面ノズルマン技能講習会」については、今年度から再開する。

(3) その他の講習会、講演会等

本部において、のり面ロープ高所作業に係る特別教育インストラクター養成講習会及び吹付け工のアセットマネジメントに関する講演会を実施する。

また、各地方支部において、法面保護工法に関する研修会、講習会を実施するとともに、現場の安全に関する研修会、講習会を実施する。

2、法面保護工の専門技術に関する指導・助言

発注機関、会員、一般住民からののり面保護工に関する技術的な相談窓口活動を積極的に行う。

また、地方支部等が企画し実施する講習会への講師派遣を行う。

3、法面保護工の技術向上、普及のための調査研究

(1) 特定法面保護工法に関する調査研究

本部及び支部の委員会による調査研究を行うほか、のり面緑化工の手引きの次期改訂に向けて、大学等に委託して必要な調査を実施する。また、メインロープを緊結するアンカーの設置要件に関する実証試験を労働安全衛生総合研究所と共同で実施する。

(2) 特定法面保護工法に関する受託業務の実施

特定法面保護工法に関する受託業務を実施する。

4、法面保護工の普及のための啓蒙事業

特定法面保護工法の普及・啓蒙のため機関誌「のり面と環境」を発行するほか、のり面工事が市民生活の「安全・安心」に重要な役割を果たすことについて、国民一般を含めて理解を深めるため現場見学会の開催等を通じたパブリシティ活動等啓蒙活動を充実する。

また、発注者に対してのり面施工管理技術者等の資格活用等法面保護工事に関する要望活動を強化する。

5、特定法面保護工に関する調査の実施

法面保護工事の施工実態調査及び労働災害調査を継続して実施する。

6、関係機関への協力等

イベント等関係機関の行う行事等に協力する。